

ご挨拶

実行委員長 木苗 直秀
(静岡県教育委員会 教育長)

2021 FALCon 高校生国際会議@Mishima によろしくお会いくださいました。開催にあたりまして、本国際会議実行委員として御尽力いただきました、加和太建設、静岡新聞社・静岡放送及び三島市役所の皆様に、心より御礼申し上げます。また、WWL 事業拠点校である県立三島北高等学校を中心に、多数の生徒・教員のみなさんが準備に取り組んでくれました。本会議は、全ての関係者の努力があってこそ開催であります。

本会議は、メインテーマであります「Crisis に負けない持続可能な社会づくりを目指して～SDGs の視点からの多面的なアプローチ～」に基づき、参加生徒のみなさんが分科会に分かれて議論をします。国内外から参加する生徒さんたちにより、多様な考え方がもたらされることでしょうか。新型コロナウイルス感染症対策等、今日の世界が抱える課題を克服するための斬新なアイデアが生まれることを期待して止みません。

本会議を通じて、明日への礎を発見して頂ければ幸いです。ぜひ、高校生たちによる活気ある議論をお楽しみください。

ご挨拶

WWL コンソーシアム構築支援事業
拠点校校長 鈴木 敏彦
(静岡県立三島北高等学校校長、実行委員)

皆さん、静岡県三島市へ、そして、静岡県立三島北高等学校へ、よろしくお会いくださいました。いよいよ「高校生国際会議」の開幕です。皆さんの協力のもと、本会議が活発な協議の場となることを期待しています。

さて、本会議のテーマである「Crisis に負けない持続可能な社会づくり」に大切なことは、「誰かの靴を履いてみること」です。お互いの感情や経験を分かち合い、一人一人が当事者意識を持つことでこそ、誰一人として取り残されることのない、持続可能な開発が可能となるのです。また、その実現のための17の目標の達成に向けては、それぞれが複雑な形で相互に関連し合っているため、対応策や解決策が簡単に見つかることはないでしょうから、みんなで知恵を出し合って議論することが重要です。今回、どのようなアイデアが飛び出すか、とても楽しみです。

最後になりましたが、本会議の開催に当たり、多大なる御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に対しまして、改めて感謝申し上げます、挨拶といたします。